

③ 持続可能な学校運営を目指し、総ぐるみで子どもを育てる取組を進めます

地域とともに歩む学校をさらに発展させ、学校と地域が目標を共有し、ふるさと長岡への愛着と誇りを育むことができるよう、より実働性のある連携体制「長岡版コミュニティ・スクール」の取組を進めます。学校の教育活動に対して、家庭・地域からも学校に対して御協力をお願いします。

④ 通知表の記載内容について見直し、簡略化を進めます

通知表の内容には、保護者面談など、別の方法で保護者にお伝えできるものがあります。また、総合的な学習の時間など、年間を通した内容で評価を行う学習があります。教科にふさわしい評価・通知表の記載について、各校で簡略化に向けた見直しを進めます。

⑤ 長岡市立中学校部活動基本方針を徹底し、部活動を行います

「長岡市立中学校部活動基本方針」では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、生徒の心身の成長にとっても過度な負担にならない、適切かつ計画的な活動を実施することを大切にしています。

部活動の休養日は、週当たり2日以上（平日1日以上、週休日など1日以上）を原則として、年間100日以上、週休日などに50日以上を設定し、活動時間は、平日は2時間程度、週休日などは3時間程度とし、大会やコンクールなどに参加の場合は、参加後に休養日を設定することとしています。

今後の部活動のあり方について、働き方改革の視点から見直しを進めます。

4 市立学校における取組の例

① A小学校の取組

「週1回、放課後に授業準備や翌週の指導計画を作成する日を設定」

校時表を見直し、週1回、全校5限の日を設定したり、清掃や放課後活動を休止したりして児童の下校時刻を早くしました。教職員が、放課後に授業準備や指導計画の作成に専念できる時間を設定したことで、時間外の勤務を減少させています。

② B中学校の取組

「校時表の検討、夏季休業期間の短縮で、時間外の勤務を減少」

1日の授業時間を見直し、週に5時間の日を3日、6時間の日を2日とし、1週間の合計授業数を2時間減らした分、長期休業中に授業日を設けました。

また、平日の部活動休止日、勤務終了時刻に部活動を終了する日をそれぞれ週1日設定し、時間外の勤務を減少させています。

長岡市教育委員会 学校教育課 〒940-0084 長岡市幸町2-1-1
TEL: 0258-39-2249 FAX: 0258-39-4710 E-mail: gakkyo@kome100.ne.jp

長岡市立学校における働き方改革推進のメッセージ

市立学校に勤務する教職員の働き方改革推進に、御理解と御協力をお願いします



長岡市教育委員会から保護者・地域のみなさまへ

長岡市内の教育関係者が、未来を担う子どもたちの育成のためにチームワークを発揮し、一丸となって市立学校における働き方改革に取り組んでいきます。

長岡市は、「人づくり」を第一とする「米百俵」の精神を受け継ぎ、多くの市民の知恵と力によって復興・発展を遂げてきたまちです。未来を担う子どもたちのために、市立学校の教職員は、保護者・地域のみなさまと目標を共有し、連携・協力して、教育の質を高めていこうと努力を続けています。

「子どもたちのために」を合言葉に、これまで教職員は様々な社会の要請に応じてきました。その結果、教職員の過重な負担と長時間労働が恒常化し、学校の勤務環境と教職員の働き方、学校・家庭・地域社会の役割を改めて考え直す必要が生じました。

教職員がワーク・ライフ・バランスを整えることが、個々の人間性や創造性を磨き、教育に対する熱意と使命感を一層高め、専門性を生かした授業力を磨く時間の確保につながります。これらのことを、子どもたち一人ひとりの個性を輝かせることにつなげるため、教職員の働き方改革を推進していきます。

長岡市の教育を支える保護者・地域のみなさまの御理解・御協力をいただきますようお願いいたします。

次ページより、以下の内容を御紹介いたします。

- 1 長岡市教育委員会が進める働き方改革の目標
- 2 市立学校における時間外の勤務の現状
- 3 市立学校における共通取組の内容
- 4 市立学校における取組の例



地域伝統の神楽を発表



地域講師による石工体験



総合的な学習の農業体験

1

長岡市教育委員会が進める 「長岡市立学校における働き方改革」の目標

時間外の勤務を削減するために、長岡市立学校においては、文部科学省の「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」に基づき、勤務時間の管理を行っています。

「時間外に勤務する時間は、1か月 45 時間以内とします。」

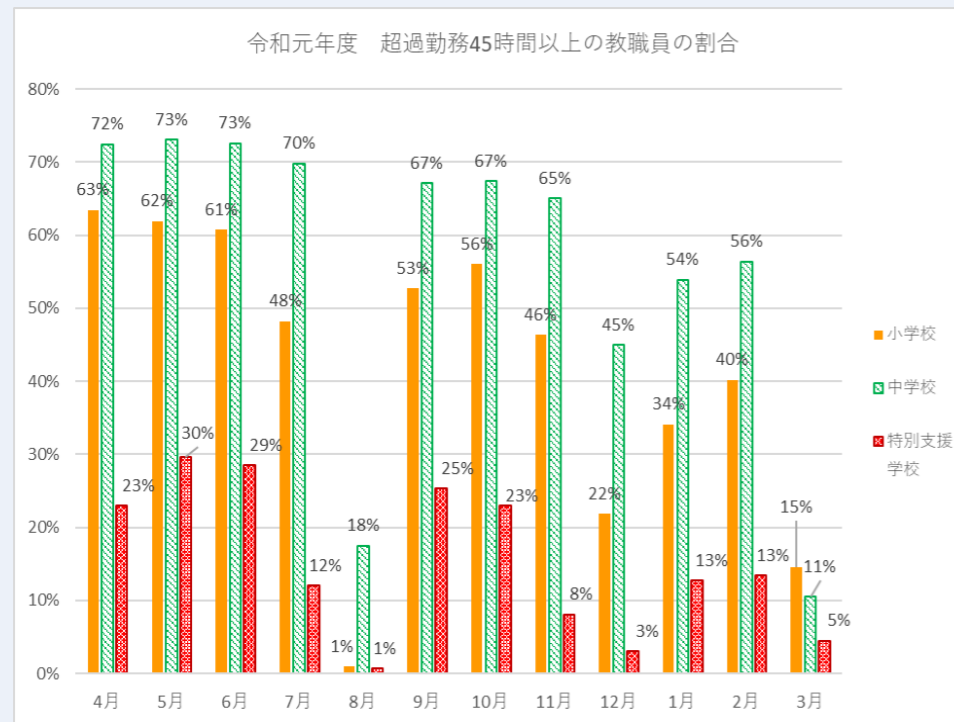
「時間外に勤務する時間は、1年間 360 時間以内とします。」

特に、過労死や健康障害の危険性が高まる時間外の勤務が月 80 時間以上の教職員数、時間外の勤務時間が年間 720 時間を超える教職員数をゼロにする取組を進めています。これからも長岡市立小学校・中学校・特別支援学校校長会と協力して、この取組を継続して推進します。

2

市立学校における 時間外の勤務の現状について

① 市立学校に勤務する教職員の勤務状況

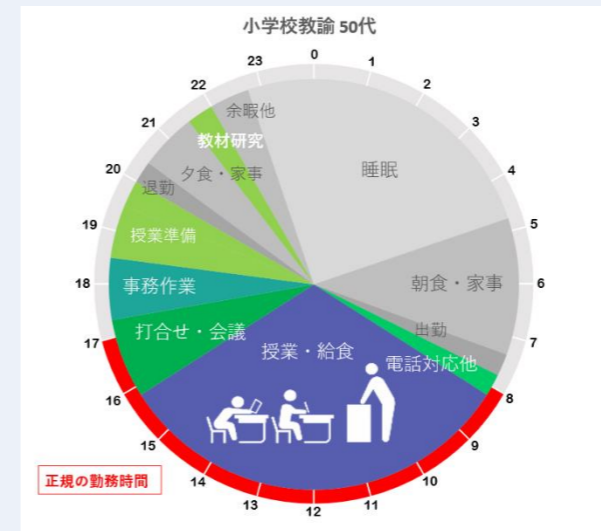


左のグラフは、令和元年度に長岡市立小学校・中学校・特別支援学校に勤務する教職員のうち、時間外の勤務がひと月に 45 時間を超えた教職員数の割合を表しています。

夏季休業中の 8 月と新型コロナウイルス感染症対策で休業した 3 月は、時間外の勤務が少ない状況です。

しかし、年度初めの 4 月、学校行事や部活動の大会、定期試験のある 5 月から 7 月、学期末を迎える 10 月、学習発表会などを開催する 11 月ごろの時期に時間外の勤務が増えています。

② 市立学校に勤務する教諭の一日



上記は、市内小学校・中学校に勤務する教諭の平均的な 1 日のスケジュールです。いずれの教諭も正規の勤務時間前から仕事を始め、終了後も続けて勤務し、家庭でも仕事を持ち帰っている実態もあります。この他にテスト問題作成・採点業務、行事の準備などが加わる時期があります。

また、時間外に勤務しても、固定支給額以外の残業手当は支給されません。今後も適正な勤務時間（7 時間 45 分）となるよう取組を進めています。

3

市立学校において共通に取り組む内容

教職員（令和元年度研修会参加者等）を対象にしたアンケート調査結果から、市立学校における働き方改革の推進のために、市教育委員会の指導の下、以下の取組を全市立学校で共通して行います。

① 電話を受け付ける時間を設けます

小学校・特別支援学校：午前7時45分 から 午後6時20分まで
中学校：午前7時45分 から 午後6時50分まで

市立学校への電話連絡は、上記の時間で受け付けますが、可能であれば勤務時間内にお願います。勤務時間以外は、教職員が在校している場合、対応します。勤務時間は、学校にお問い合わせください。

夏季休業中や冬季休業中の学校無人化実施日（例えば、お盆の期間など）は、長岡市教育委員会 学校教育課の職員が勤務している場合、電話取り継ぎ対応を行います。

② 学校における業務の削減・効率化・精選など、業務の見直しを進めます

上記のアンケートの結果、小学校では「学校行事に関する準備や運営の負担が大きい」、中学校では「部活動・課外活動の負担が大きい」が最も多い回答でした。

今後も、継続して学校行事、行事の練習・準備、英語検定等の各種検定の開催、PTA 活動などに関して実施内容の見直しや回数の削減・準備の効率化・活動の精選など、業務の見直しを進めます。